



シリーズ

赤ちゃん
うまれて

えがったなあ



♥名前の由来は何ですか？

きょうだいの名前に月と星、凧と入っているので、月と星をつなぐ空と、凧々しい澄み切った空気の日に生まれたので名付けました。将来、凧々しく、広い空のような心をもった人間になってほしいです。

♥舟形町での育児はどうですか？

支援センターの先生や、保健師の方が声をかけてくれるので、気になった事など気軽に相談しやすいです。

♥舟形町のいいところ・改善してほしいところは？

- ・自然にあふれている所
- ・地区の行事が多く、近所の方々と仲が良い所
- ・冬に歩道の除雪がされていない事があり、学生さんが大変そうにしている所

♥舟形町に望むことはありますか？

病院（小児科）は新庄に行かないとないので、冬場等とても不便に感じるので、舟形にも小児科ができれば大変助かります。人口が少なく、子どもの数も少ないので、もっと人口を増やす取り組みを考えてほしいです。

【お願い】「えがったなあ」に出てみませんか。

舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さん、その他「えがったなあ」に出てみたい方を募集します。

(連絡先) 舟形町議会事務局 ☎32-0030

今回は、西堀の

沼澤 貴宏さん・沙織さんの

お子さんの凧空ちゃん(7ヶ月)です。

皆さんよろしくお祈りします。

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見やご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私は、経壇原町内で大工をしています。

昨今、物価高騰や職人不足など厳しい環境の中ですが、舟形町や商工会などの助けをいただきながら、仕事を継続することが出来ていることに大変感謝をしています。

しかし、来年4月に建築基準法の改正があり、例えば、床をリフォームする場合、下地から解体し床面積の半分以上張り替える場合には確認申請が必要になります。今まで以上に事前調査が必要となり経費も増加し、工事期間も長くなり、お客様の負担も必ず増えてきます。手続が必要なお仕事には補助をして頂けると、地元業者の活性化、お客様の負担軽減にも繋がると思っていますのでよろしくお祈りします。地元で仕事をさせてもらっているのです、今まで以上頑張る所存です。



おおば 洋一 さん
大場 洋一 さん
(経壇原)

(議会より)

地元業者の育成と定住促進のためにも、バックアップしていきます。

編集後記

7月25日発生の豪雨災害で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

自然災害の恐ろしさをあらためて感じたところであります。町では復旧支援の補正予算総額22億円超の大型予算を8月30日の臨時会で可決復旧に取り組んでおります。

さて、議員のなり手不足、多様な人材の政治参画の機会として、このたび、40代を中心の若者8名(男性5名・女性3名)の皆さんによる「模擬議会」を9月21日に、議会としてはじめて開催することができ、執行部と議論を深めました。

今後の選挙において若者・女性の皆さんの立候補を期待しております。

(伊藤 廣好 記)

発行責任者

- 議長 齋藤 好彦
議会広報常任委員会
委員長 荒澤 広光
副委員長 小国 浩文
委員 伊藤 欽一
委員 叶内 昌樹
委員 伊藤 廣好